一般質問

12月定例会では10名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、ここではその一部を掲載しました。このほかにも下の表のとおり質問を行いましたが、紙面の都合で省略しました。詳しくは2月中旬発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

質問事項	○高齢者福祉の充実について（介護保険との関係で）　○子育て支援について　○行財政改革の推進について　○教育行政の諸問題について　○市長の政治姿勢について　○少子高齢化について　○大船駅周辺のまちづくりについて　○高齢者福祉について　○給食（小学校・中学校・保育園）と中学校の弁当について　○子育て支援（中学校給食について、学校施設を遊び場として活用、ジェンダー・フリーの視点での保育について、児童虐待問題について）　○緑の保全について　○行財政改革について（「なぜいま行財政改革」から何を目指すのか、職員の削減計画について、交付団体か不交付団体か、財源の確保について、市町村合併について、中核市について）　○名越クリーンセンターへの一本化やごみ問題をめぐる諸課題について　○交通諸課題について（ミニバスについて）○文化行政について（松竹大船撮影所と田川喜多邸について）　○行財政改革について（青少年育成事業について、労働費全般について）
質問者	○吉岡　和江　○伊藤　玲子　○前野　正司　○岡田　和則 ○前田　陽子　○藤田　紀子　○赤松　正博　○助川　邦男 ○児島　晃　○本田　達也

大船のまちづくりは今
松竹映像文化の継承など

大船駅周辺地区では、平成四年九月に東口再開発事業第一区として駅ビル・交通広場などが完成しましたが、第二区をはじめ西口整備の早期施工が待たれています。また、地元住民・商業者などから構成されるまちづくり協議会が策定した大東橋周辺地区・鎌倉芸術館周辺地区・大船駅南部地区のまちづくりの基本方針の早期具体化も望まれています。

今定例会では、これらの地区における事業の進ちょく状況や横浜市が行っている北地区再開発事業への本市の対応などについて質問しました。

質問…大船駅西口の交通渋滞は深刻である。玉縄地域などは人口増加地域であり、車両の増加が見込まれる。交通広場の整備までの短期的方策が必要である。公共交通の強化を緊急的に行う考えはないか。

地区交通計画担当担当部長…玉縄地域のミニバスについては、現地の調査も行いバス事業者から意見を聴取している段階である。早期の導入をめざし、採算性を含めて課題の精査をしてもらうよう積極的に働きかけをしていく。

質問…横浜市側は北地区の再開発事業に意欲的で西口整備には消極的とも聞いている。いつ頃をめどとして横浜市と共同して交通広場をつくるのか聞きたい。

大船駅周辺整備推進担当担当部長…整備計画案に関して、費用負担やJR施設の移転等の具体的内容について横浜市やJRと協議、調整を進めている。今後は協議の進ちょくに合わせて都市計画決定に向け関係機関と協議を進めるとともに地元地権者の理解と協力が得られるように鋭意努力したい。

質問…鎌倉芸術館周辺地区のまちづくりについて、平成十年十二月に鎌倉シネマワールドが閉鎖され、半年後には鎌倉シネマワールド跡地を含む松竹大船撮影所用地が売却されるという新聞報道がされたが、今回松竹撮影所用地に鎌倉女子大学が進出するに当たり大学との連携・協力についてどのように考えているか。

教育総務部長…子育てを側面的に支援するということから、これからの課題の一つと認識している。

質問…弁当の購入方式、弁当併用の選択メニュー式の給食、などの例がある。教育的見地、社会的背景から積極的な検討をしていってもらいたい。

市長…大学設置の構想について大学側との意見交換を行いつつ、地域と大学が一体となってまちづくりに取り組めるような環境をつくっていかなければならないと考える。

質問…映像文化の遺産など継承の第一歩は、映像文化を松竹株式会社から大学や市が引き継ぐことであろうと考えるが、どのような協力要請を行っているのか。

大船駅周辺整備推進担当担当部長…松竹株式会社からは基本的な了承を得ており、今後は大学などとも協議しながら具体的継承方法を検討したい。

質問…映像文化の散逸を危ぐしている。鎌倉市が引き取る用意はあるか。

大東橋付近から眺める松竹通り

文化推進担当担当部長…撮影所の中にどのような文化遺産があるのか、その遺産について松竹株式会社がどのような認識を持っているのか接触を図り、その結果により、可能ならば市自身が遺産を何らかの形で引き継ぐことも考慮の一つに入れながら今後の方策を考えたい。

質問…松竹撮影所の文化遺産を展示するには田川喜多邸がふさわしいと考える。実施計画の見直しではその整備について後退しているが、歴史的出来事として撮影所の閉鎖があった。田川喜多邸整備の計画を改めて出すことはどうか。

文化推進担当担当部長…現在の経済状況や財政状況では困難であろうが、ソフトの部分で現在の施設での映画上映や映画関連資料の展示など、可能な事業は実施していきたいと考える。

質問…厳しい財政状況の中、市の予算では、非常に難しいであろう。川喜多記念館の整備の基金をつくり、著名な映画関係者に呼びかけ、例えばオークションを行い収益金を基金に入れ川喜多記念館を整備する考えはどうか。

文化推進担当担当部長…現在一般公開時に市民の方に募金の協力をお願いしているが、今後はこのような募金も活用できるような形の基金の設置等も考えていきたい。

質問…大船駅東口市街地再開発事業について、事業財源が非常に厳しい中、財源確保のため大船行政センターを再開発ビルに入れ跡地を処分するなど公共施設や用地の再編整備を行うなどの視点が必要であると考える。横浜市の北地区の再開発はスピードと規模の点で鎌倉市に比べ勝る。大船駅北口開設も現実的になるのでは、とも考えている。北口開設に対応できるよう検討することを要望する。また、南部地区のクランク交差点周辺の整備の今後の方針を聞きたい。

大船駅周辺整備推進担当担当部長…地元の協議会で事業化に向けて協議を行ってきた。県や地元権利者との調整をした上で整備に向け努力をしたい。

質問…市長の平成十二年度への具体的取り組みへの決意を聞きたい。

市長…多くの課題を抱えているが、それぞれの計画の熟度を高め具体化が図れるように取り組んでまいりたい。

進む少子・高齢社会
介護や子育て支援の対応は

今年、我が国の高齢化率は十七％と世界最高水準に達すると言われ、また、合計特殊出生率は平成十年で一・三八まで下がり、人口は平成十九年を頂点に減少に転ずると推計されています。今定例会では少子・高齢社会への対応について次のような質問を行いました。

【どうなる介護保険】

質問…政府から六十五歳以上の第一号被保険者からの保険料徴収の半年凍結などの特別対策が出された。市としても基盤整備が整うまで低所得者の保険料について免除するなどの制度ができないか。

市長…特別対策が出され、保険料の問題、低所得者対策の問題は国の動向を見ていかなければならないが、原則的には社会保険制度としての趣旨を貫いて運営していくことが適当と考える。

質問…保険料徴収が滞結になると介護保険事業に市が独自にサービスを上乗せ、横出しすることは困難ではないか。

保健福祉部長…独自にサービスを行う場合、財源は六十五歳以上の方の保険料で賄うこととなっており、当面の凍結にしなければならない。これまで介護保険事業計画等策定委員会で保険事業と保険外事業のあり方について議論してきたところだが特別対策を念頭に、再度検討を依頼したい。

【保険外の高齢者福祉は】

質問…介護保険外の事業について基本的な考えを聞きたい。

保健福祉部長…従来の福祉サービスの水準は維持するというのが基本的な考え方である。介護保険認定外の方への生活支援事業、介護予防・生きがい活動支援事業の国庫補助事業を行う方針が出された。国・県の動向を見極めながら積極的に対応していきたい。

質問…市が行う生活支援型のホームヘルプサービスはどのように実施するのか。

保健福祉部長…利用者負担は介護保険が一割であることから均衡を考え、おおむね一割程度を基本に考えている。回数、時間、これらの限度などの詰めはこれからである。

質問…現在、配食サービスは市民参加型の事業が全体の九割を超えている。市の事業ともに充実させて、住み分けを図っていくことが望ましいと考えるがどうか。

保健福祉部長…役割分担、利用者のニーズを考慮しながら、あり方を検討していく必要がある。

【少子化への対応】

質問…鎌倉市児童育成計画の進ちょく状況を聞きたい。

保健福祉部長…基本的には、おおむね予定どおり推進できていると認識している。一部達成できていない事業もあり、乳児保育の受け入れについてはまだ不十分と考える。

質問…最近、児童虐待の報道が相次いでいるが、核家族化が進み育児について身近に相談できる人がいないなどの問題への対応を聞きたい。

子どもたちをはぐくむ小学校給食

保健福祉部長…親の不安を解消するための受け皿として子育て支援センターを早期に立ち上げることが重要と認識している。保育園には子育てサロンなどの類似機能があり、地域の中で役割を担っていると考えている。

質問…保育園の待機児童が増えてきており、多くが三歳未満児である。対応を聞きたい。

保健福祉部長…定員枠の拡大によって待機児童の解消を図る努力を重ねてきたが、緊急的な課題として、公立・民間保育園での受け入れ枠のさらなる拡大、既存の保育園の改修、新たな保育園の開設、これらを視野に入れた対策を図っていこうと考えている。

質問…市として公立保育園の民営化の方針を出したがどのような考えか。

保健福祉部長…関係者、保護者からさまざまな意見もあり、さらに慎重な議論を重ねる必要があると判断し、民営化の準備事務を一年送り、平成十二年度に機関を設置して公私の役割分担を中心とした議論をしていただく考えである。

質問…小規模保育所（認可外保育所）の社会福祉法人化の努力をすべきではないか。

市長…そのことは重要であり、そうした施策もしているが同時に多様で量的にも拡大している保育ニーズに応えていくために民間の保育園が持っている能力をもっと活用することが重要である。

質問…ジェンダー・フリー（社会的性差にとらわれない考え方）について保育園では指導、研修を行っているか。

保健福祉部長…子どもの人権と男女共同参画社会の理念に基づく考え方と認識するが、保育に従事する職員が常にジェンダーの問題を意識した保育を行っていると考えている。

質問…かまくら女性プランにも幼稚園、保育園と小学校の連携強化、男女平等教育等の指導の研究と充実が位置づけられており、女性行政の情報を十分に得て幅広い研究を行ってもらいたい。

【今、学校給食は】

質問…小学校の給食は平成十年度では一人当たり約八百九十五円かかっているとのことだがコスト面の対策としては人員配置計画の見直しで対応していくのか。

教育総務部長…栄養士業務の効率化を図り、調理員の不足人員は嘱託で対応していきたい。

質問…給食の安全性や質は低下させてはいけないと考える。栄養士の削減、調理員の退職不補充などの方向が報告されているが給食の充実や食に関する指導の充実ができるのか。

教育総務部長…自校調理を基本とする大前提の中で財政問題、コスト問題等を含めて総合的に判断して方向を出した。

質問…働く女性の子育てを支えるという観点から中学校の学校給食をどのように考えるか。

教育総務部長…容器包装リサイクル法が平成十二年四月から完全施行されるが、プラスチック類に対して、市はどういう方針で臨むのか聞きたい。

資源再生部長…プラスチック類を分別収集し再資源化することはごみ半減化のための重要な施策である。新たな分別排出であり、市民の皆さんに理解をいただくとともに資源化には経費もかかるので関係部局とも協議し、早期に実施できるよう努力したい。

質問…容器包装リサイクル法対象外の塩化ビニール系プラスチックはどうするのか。

資源再生部長…塩化ビニールも同様の扱いとし、焼却炉で焼却しない方針を考えている。

質問…容器包装リサイクル法が平成十二年度から完全施行されるのは、プラスチック類の扱いとし、焼却炉で焼却しない方針を考えている。生活環境整備審議会にかけなければならないと考える。

市長…大学設置の構想について大学側との意見交換を行いつつ、地域と大学が一体となってまちづくりに取り組めるような環境をつくっていかなければならないと考える。

質問…映像文化の遺産など継承の第一歩は、映像文化を松竹株式会社から大学や市が引き継ぐことであろうと考えるが、どのような協力要請を行っているのか。

大船駅周辺整備推進担当担当部長…松竹株式会社からは基本的な了承を得ており、今後は大学などとも協議しながら具体的継承方法を検討したい。

質問…映像文化の散逸を危ぐしている。鎌倉市が引き取る用意はあるか。

文化推進担当担当部長…撮影所の中にどのような文化遺産があるのか、その遺産について松竹株式会社がどのような認識を持っているのか接触を図り、その結果により、可能ならば市自身が遺産を何らかの形で引き継ぐことも考慮の一つに入れながら今後の方策を考えたい。

質問…松竹撮影所の文化遺産を展示するには田川喜多邸がふさわしいと考える。実施計画の見直しではその整備について後退しているが、歴史的出来事として撮影所の閉鎖があった。田川喜多邸整備の計画を改めて出すことはどうか。

文化推進担当担当部長…現在の経済状況や財政状況では困難であろうが、ソフトの部分で現在の施設での映画上映や映画関連資料の展示など、可能な事業は実施していきたいと考える。

質問…厳しい財政状況の中、市の予算では、非常に難しいであろう。川喜多記念館の整備の基金をつくり、著名な映画関係者に呼びかけ、例えばオークションを行い収益金を基金に入れ川喜多記念館を整備する考えはどうか。

文化推進担当担当部長…現在一般公開時に市民の方に募金の協力をお願いしているが、今後はこのような募金も活用できるような形の基金の設置等も考えていきたい。

質問…大船駅東口市街地再開発事業について、事業財源が非常に厳しい中、財源確保のため大船行政センターを再開発ビルに入れ跡地を処分するなど公共施設や用地の再編整備を行うなどの視点が必要であると考える。横浜市の北地区の再開発はスピードと規模の点で鎌倉市に比べ勝る。大船駅北口開設も現実的になるのでは、とも考えている。北口開設に対応できるよう検討することを要望する。また、南部地区のクランク交差点周辺の整備の今後の方針を聞きたい。

大船駅周辺整備推進担当担当部長…地元の協議会で事業化に向けて協議を行ってきた。県や地元権利者との調整をした上で整備に向け努力をしたい。

質問…市長の平成十二年度への具体的取り組みへの決意を聞きたい。

市長…多くの課題を抱えているが、それぞれの計画の熟度を高め具体化が図れるように取り組んでまいりたい。

ごみの減量化・資源化
名越への一元化をただす

既存のごみ焼却施設から排出されるダイオキシン類の排出基準が平成十四年十二月から厳しくなることを受け、市では名越クリーンセンターを新基準に適合するよう改修するとともに、今泉クリーンセンターでの焼却処理を休止し中継施設として活用する方針を出し、地元住民と話し合いを行ってきました。

今定例会では名越クリーンセンター一元化の問題をはじめ、平成十二年度から完全施行されることになっている容器包装リサイクル法に伴うごみの再資源化などについて、次のような質問を行いました。

質問…名越クリーンセンターへの一元化を一方的に住民の意向を聞かないで決めたやり方では問題の解決が図れない。地元の住民は、一元化により、ごみが増えるのではないか、ダイオキシンはどうなるのか、と心配している。自分達の生活にかかわる問題を決めるのに何の相談もなかったという地元住民の声があるが、どう考えるか。

市長…方針が決まらない段階で地元の方に説明することはなかなか難しい。ある一定の方向を決め、議会にも相談し、その上で地元との話し合いを始めた。現在、大町地区の自治連合会との話し合いを進めている。早期に問題の解決が図れるように一層の努力をしてまいりたい。

質問…ごみ半減化の見通しがなければ、一元化も決められないはずである。また、半減化したとしても老朽化している名越の炉だけでもつのかも心配である。そこで、ごみをゼロにめざすことを提案する。それには、まず分別が必要であり、基本姿勢として、燃やさず、埋めず、資源化することに全力を尽くすべきである。ごみ減量化・資源化の重点課題はミックスペーパーとプラスチック類と生ごみと考えるが、ミックスペーパー対策について聞きたい。

資源再生部長…平成十一年五月に実施した家庭系ごみ分析では、燃えるごみの中に資源化可能のミックスペーパーと紙パックが約十％混入されている状況であった。資源化できる紙類について、排出方法を含めて周知することに今後一層努めてまいりたい。

質問…容器包装リサイクル法が平成十二年四月から完全施行されるが、プラスチック類に対して、市はどういう方針で臨むのか聞きたい。

資源再生部長…プラスチック類を分別収集し再資源化することはごみ半減化のための重要な施策である。新たな分別排出であり、市民の皆さんに理解をいただくとともに資源化には経費もかかるので関係部局とも協議し、早期に実施できるよう努力したい。

質問…容器包装リサイクル法対象外の塩化ビニール系プラスチックはどうするのか。

資源再生部長…塩化ビニールも同様の扱いとし、焼却炉で焼却しない方針を考えている。

質問…容器包装リサイクル法が平成十二年度から完全施行されるのは